

たまねぎ



産出額 (億円) : 607
シェア (%) : 63.4
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

北海道での収穫の時期は8～10月で、収穫量(令和2年)は89万2,000t(全国の6割超)。道内では北見市(全国の約3割)で最も多く栽培されている。
北海道産のたまねぎは、球が良く締まり、平たくなく球状で、貯蔵性の良さが特徴。

大豆



産出額 (億円) : 151
シェア (%) : 37.3
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

日本人の年間需要量は令和3年度で約356万t。大半を輸入しており、令和3年度・大豆の自給率は7%。大豆は、豆腐・納豆・味噌・醤油・煮豆等日本の食事に欠かせない食材や調味料に加工され、古くから利用されている。

メロシ



産出額 (億円) : 103
シェア (%) : 17.2
順位: 2位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

品種の一つであるマスクメロンはイギリスで温室栽培向けに改良されたアールス・フェボリット系のネットメロンの総称。日本では、温室メロンに分類される。全国で流通している青肉メロンのほかに、道内では赤肉メロンの生産も盛んである。

てんさい



産出額 (億円) : 407
シェア (%) : 100
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

全国で栽培しているのは北海道のみ。収穫時期は10～11月で、令和3年の収穫量は406万1,000t。北海道では十勝地域で189万2,000t(47%)、オホ・ツク地域で158万7,000t(39%)が栽培されている。てんさいから上白糖が作られる。

トマト



産出額 (億円) : 242
シェア (%) : 10.8
順位: 2位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

トマトの収穫量(令和2年)は全国で、70万6,000t。このうちミニトマトが15万4,600t、加工用トマトは2万500tとなっている。道内では、日高地方の西端に位置する平取町が出荷量全一を誇る。

生乳



産出額 (億円) : 4,026
シェア (%) : 51.6
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

北海道における令和3年の生産量は431万tで全国の56%。用途別仕向量は、脱脂粉乳・バター等、生クリーム等、牛乳等、チーズ向けの順。乳牛から搾乳した生乳を100%使用したものが牛乳。生乳の乳脂肪分は、乳牛の品種、個体、季節、えさなどによって変化する。

ばれいしょ



産出額 (億円) : 649
シェア (%) : 46.0
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

全国の収穫量(令和2年)は、220万5,000tで、そのうち北海道は約79%を占めている。主食用・加工用(ポテトチップスなど)・でんぷ用・種子用などの使用用途に合わせて最適な品種が栽培されている。

米



産出額 (億円) : 1,198
シェア (%) : 7.2
順位: 2位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

国民1人・1年当たりの米の消費量は、昭和7年度の118.3kgをピークに一貫して減少傾向。令和2年には50.7kgまで減少している。日本穀物検定協会の「食味ランキングは、令和3年度(令和3年度産米)で、道産米の「なつめい」は12年連続、「ゆめいりか」は11年連続、「さくらんこ」は14年連続で最高評価の「特A」を獲得している。

小麦



産出額 (億円) : 317
シェア (%) : 78.9
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

過去5年(平成28年～令和2年)の平均流通量は国産82万t。輸入488万t。うち、アメリカ(49.8%)、カナダ(33.4%)、オーストラリア(16.8%)で、この3カ国でほとんどを占めている。
小麦粉の原料で、小麦粉はうどん、パン、パスタ、ケーキなど様々な食品の材料として使用されている。

小豆



産出額 (億円) : 165
シェア (%) : 86.8
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

令和3年産の小豆の収穫量は全国42,200t、うち北海道39,100tで、全国の92.7%を占めている。
和菓子に欠かせないあじふの原材料である。北海道農政事務所帯広地域拠点では、小豆生産農家の方々やお菓子屋さんを応援しており、「あずきにキュン」という取組を行っている。